

体験コーナー進行例

高校

地域教育推進ネットワーク東京都協議会 防災教育プロジェクト

コーナー	空き缶ランタン作り
目標	停電時等を想定し、身の回りのもので明かりを確保する技能を身につける。
スタッフ数	1名～5名／30名
準備物	空き缶、ろうそく × 参加者数 ハサミ、カッター × 適宜 机がろうで汚れないようにアルミホイルなどを敷く
会場 平面図	
進行	<ol style="list-style-type: none"> 1 指導員が簡単に展示する 2 生徒に空き缶、ろうそく、ハサミ・カッター等を配布する 3 実際に作業させる 4 点火可能な場合は点火する ※最低でも指導員のみは点火したい 5 自治体指定の方法に従って処分するところまで指導
進行上の 注意	手指を切らないように注意。切断面もするどくなっているため、切ったあともふざけない。火気の取り扱いに注意する
課題	



(1)飲み口の真下に、カッターで、切れ込みを入れます。必ず軍手をはめてください。



(2)切れ込みからキッチンペーパーを入れて、縦にまっすぐに切ります。



(3)横方向に切ります。切り落とさずに、背となる部分を作ります。



(4)底をかなづちで叩いてへこませます。ろうそくを立てる部分を作ります。



(5)口をたらしします。やけどには十分注意してください。



(6)底をライターであぶって、ろうを溶かし、ろうそくを立てると完成!!



(7)プルタブの部分を持って、持ち運びます。



(8)ろうそくが無ければ、台所のサラダ油でも大丈夫。底の部分に注ぎます。



(9)炎の芯には、台所のたこ糸を使います。まず、たこ糸の芯を立てるための台座を作ります。アルミホイルを細長く折ってください。



(10)たこ糸をアルミホイルではさみます。芯となる部分を突き出させてください。この突き出した部分の長さで、炎の大きさを調整します。



(11)サラダ油の中に、アルミホイルとたこ糸で作った芯を入れます。これで、できあがり。



(12)なるべく不純物の少ない菜種油(キャノーラ油)を選んでください。